

開催要綱

「熊本から本物のインクルーシブ教育を！」

- 日時 2026年2月28日(土) 13時から17時まで
- 会場 熊本学園大学 11号館 高橋記念ホール(熊本市中央区大江2-5-1)
- ◆ 開催方法 対面開催
- ◆ 参加費 無料
- ◇ 主催 「熊本から本物のインクルーシブ教育を！タウンミーティング実行委員会」
- ◇ 共催 NPO法人DPI日本会議
- ◇ 後援(予定)
熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社
- ◇ 後援、助成(予定)
公益財団法人麒麟福祉財団、NPO法人自立生活センターヒューマンネットワーク熊本、
熊本障害フォーラム(KDF)、日本労働組合総連合会熊本県連合会、
熊本県教職員組合、熊本県高等学校教職員組合、
- ◇ 協賛団体:KDF 加盟団体、居宅介護事業所、施設協会等、介護機器事業所、他
- ◇ 手話通訳・要約筆記有り
- ◇ 託児有り(要事前申し込み)

■ プログラム(敬称略)

- | | |
|---|---------------|
| 開場 | 12時30分 |
| 司会 佐々木希 | |
| 主催者・開会挨拶 平野みどり | 13時00分～13時05分 |
| 来賓挨拶 | 13時05分～13時15分 |
| ● 第一部 | 13時15分～14時30分 |
| 「報告① 熊本でのインクルーシブ教育への取組み」
植田洋平(自立生活センターヒューマンネットワーク熊本事務局長) | |
| 「報告② 子どもたちから学ぶ『特別』、『普通』とは？分けることは必要？」
東絵美(重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症のある子どもの母親、
ともまなネットくまもと) | |
| 「報告③ 通常学級と支援学校とを経験して」
橋口侑果(熊本学園大学大学院社会福祉学研究科修士課程大学院生) | |
| 「全国報告:全国各地の取り組み～学校バリアフリーと当事者参画
～インクルーシブ教育の環境整備について」
尾上浩二(DPI日本会議副議長、内閣府障害者施策アドバイザー) | |

休憩 14時30分～14時40分

●第二部 14時40分～15時40分

基調講演:「インクルーシブ教育はいかに実現できるか」

小国喜弘さん(東京大学大学院教育学研究科 総合教育科学専攻教授
専門はインクルーシブ教育・日本の教育実践史)

休憩 15時40分～15時50分

●第三部 パネルディスカッション 15時50分～16時50分

コーディネーター: 堀正嗣(熊本学園大学社会福祉学科教授)

パネリスト: 植田洋平、東絵美、橋口侑果、廣岡睦美(保護者)、川口久雄(教員)

アドバイザー: 小国喜弘、尾上浩二

閉会挨拶・お知らせ 桑本謙(医療的ケアを必要とする子どもたちの
豊かな学校生活を願う親の会・虹色の会) 16時50分～17時00分